

こまつしりつそら えほんかん きゅうこまつけいさつしよちようしゃ  
小松市立空とこども絵本館 (旧小松警察署庁舎)

種 別 国登録文化財 建造物  
登録年月日 平成19年5月15日  
所在地 小馬出町

小松市立空とこども絵本館の建物については、正面（西面）と両側面（南北面）の三方の外壁（延長42.2m）と、3階建ての塔屋（とうや ぼろう 望楼）の部分（建築面積16.5㎡）が国登録文化財となっている。

空とこども絵本館のもととなっている建物は、昭和6年（1931）ごろに小松警察署庁舎として建てられたもので、昭和47年（1972）以降は、小松警察署の移転に伴い、小松市教育委員会の庁舎などに利用されてきた。平成17年（2005）、正面・両側面の外壁と塔屋の部分を残すかたちで保存再生工事が着手され、平成18年7月より空とこども絵本館として利用されている。

外観は、下層にスクラッチ風のタイル<sup>(1)</sup>を貼り、上層を灰白色の洗い出し仕上げ<sup>(2)</sup>としている。正面中央上部のレリーフ<sup>(3)</sup>や、上層の窓上部にある半アーチ形タイル貼、陶器製の獣頭などで随所を飾り、特徴的な洋風建築の外観を形成している。

- (1) 「スクラッチタイル」：表面に釘で引っ掻いたような粗い縦縞模様があり、赤褐色から淡黄色の素地色を呈した無釉のタイル。大正末年から昭和10年前後の建築でよく使われた。
- (2) 「洗い出し仕上げ」：壁や土間の塗り仕上げの一つ。コンクリートやモルタルに碎石や玉砂利などを混ぜて塗り、完全に硬化する前にワイヤブラシなどで水洗いして、表面に石粒を浮き立たせるもの。
- (3) 「レリーフ」：浮き彫り

